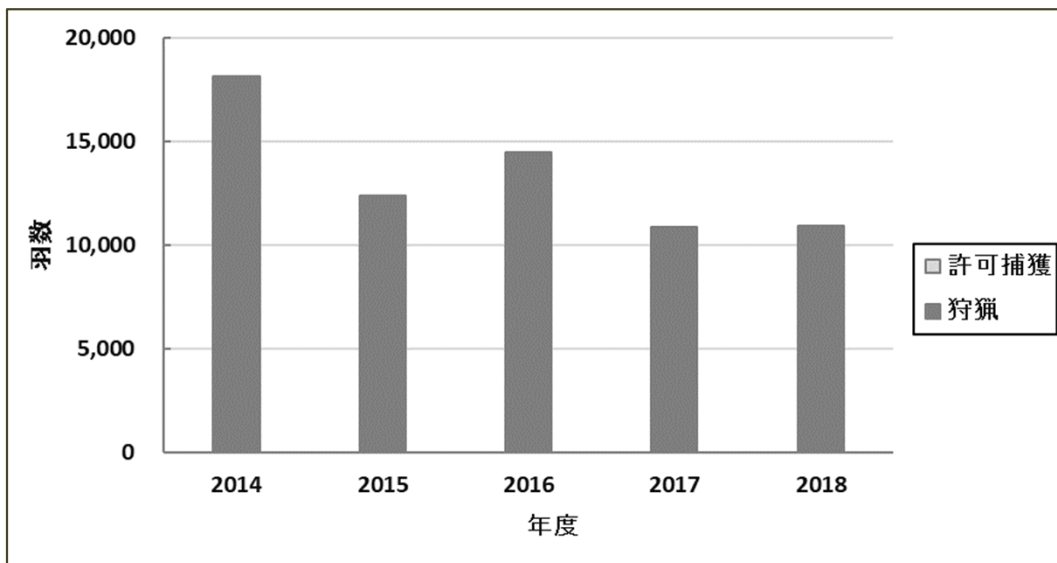
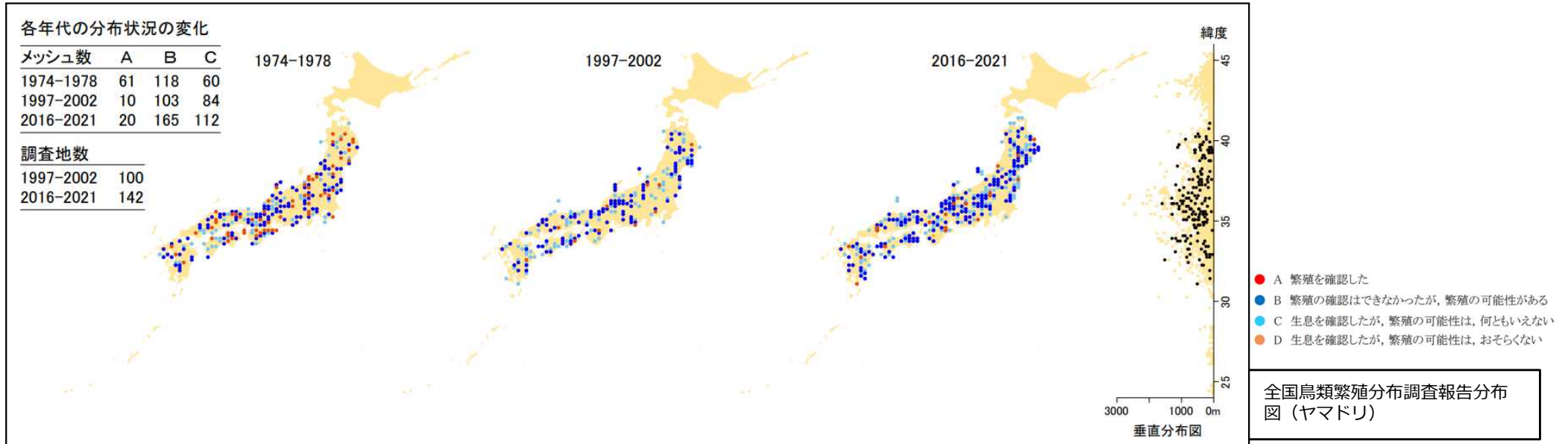


# ヤマドリ

【レッドデータブック】24都府県  
 【生息状況】全国的に分布域は拡大。  
 【捕獲状況】ほとんどが狩猟による捕獲。捕獲数は近年やや減少傾向。



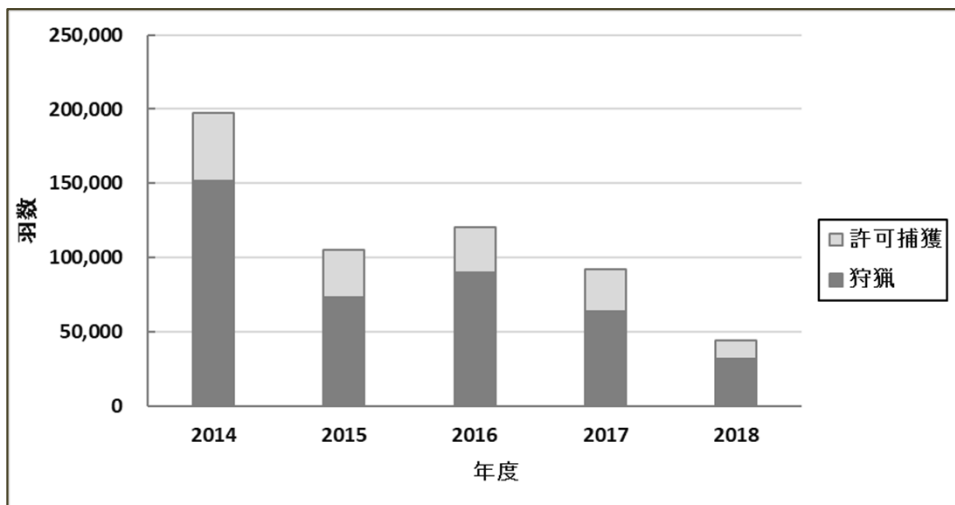
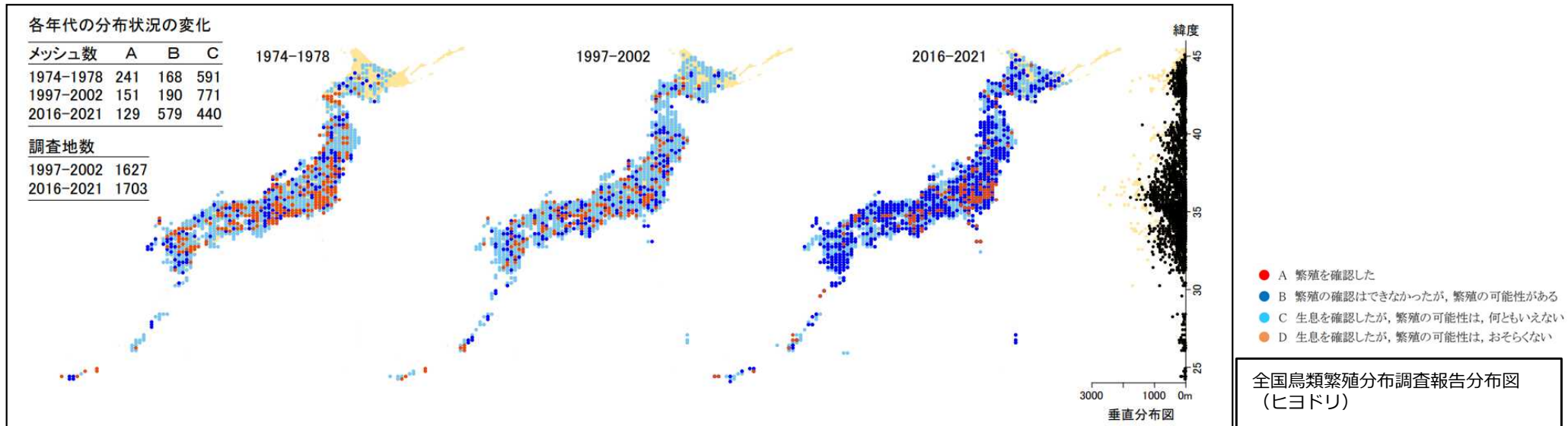
ヤマドリの捕獲数の近年の推移

# ヒヨドリ

【レッドデータブック】地方版：2都県

【生息状況】全国的に分布域は拡大している。沖縄では亜種ダイトウヒヨドリが準絶滅危惧、東京都では亜種オガサワラヒヨドリが留意種となっている。

【捕獲状況】狩猟による捕獲は大きく減少している傾向。



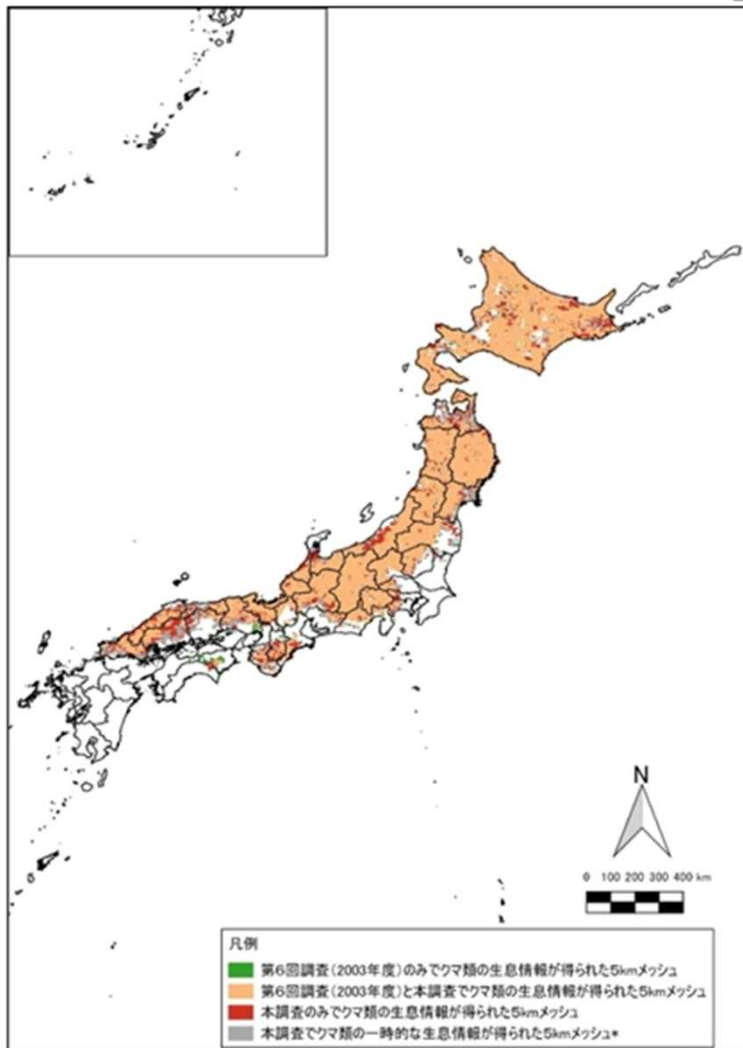
ヒヨドリの捕獲数の近年の推移

# ツキノワグマ

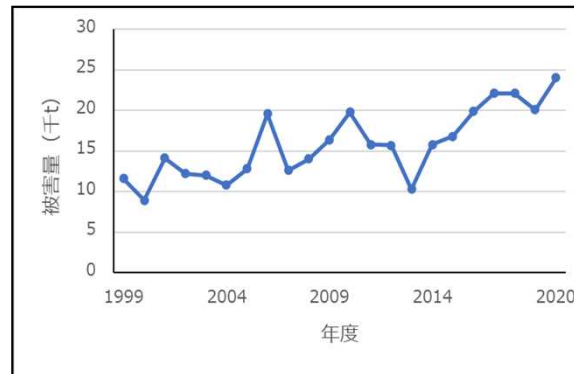
【レッドデータブック】環境省：LP（下北半島、紀伊半島、東中国地域、西中国地域、四国山地）、地方版：30都道県

【生息状況等】第6回基礎調査では4,512メッシュで生息が確認されたが、平成30年度中大型哺乳類分布調査では6,486メッシュで生息が確認された。四国地方では微減となったものの、全国的にメッシュ数は増加。

【捕獲状況】狩猟より許可捕獲での捕獲数が多い状況



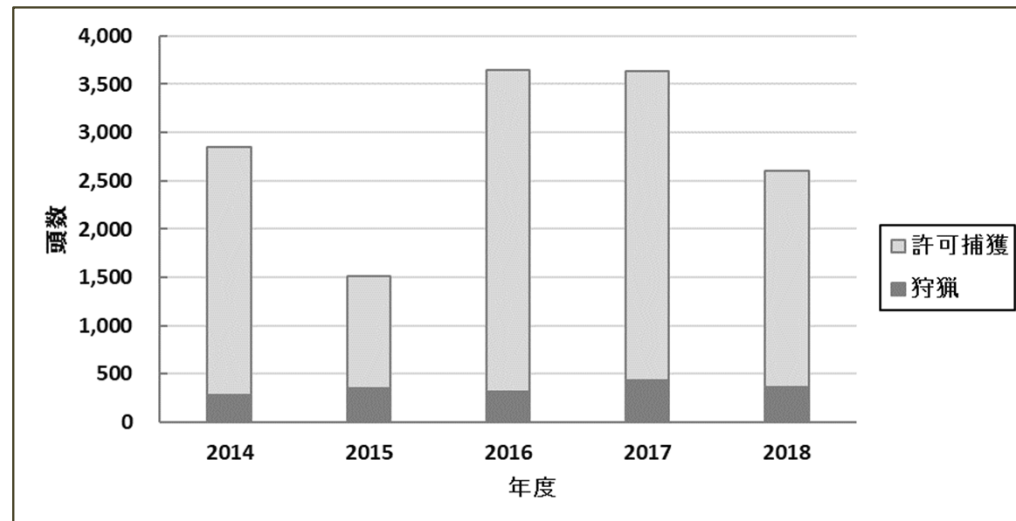
クマ類の生息情報が得られた5kmメッシュ（平成30年度中大型哺乳類分布調査と第6回調査との比較）



クマ類による農作物被害量の推移

年度	件数	被害人数	死亡者数
2017	96	104	1
2018	48	50	0
2019	137	154	1
2020	141	156	2
2021	70	72	1

ツキノワグマによる人身被害件数の推移  
(2021年度の件数は、2021年12月末の暫定値)



ツキノワグマの捕獲数の近年の推移

# シマリス

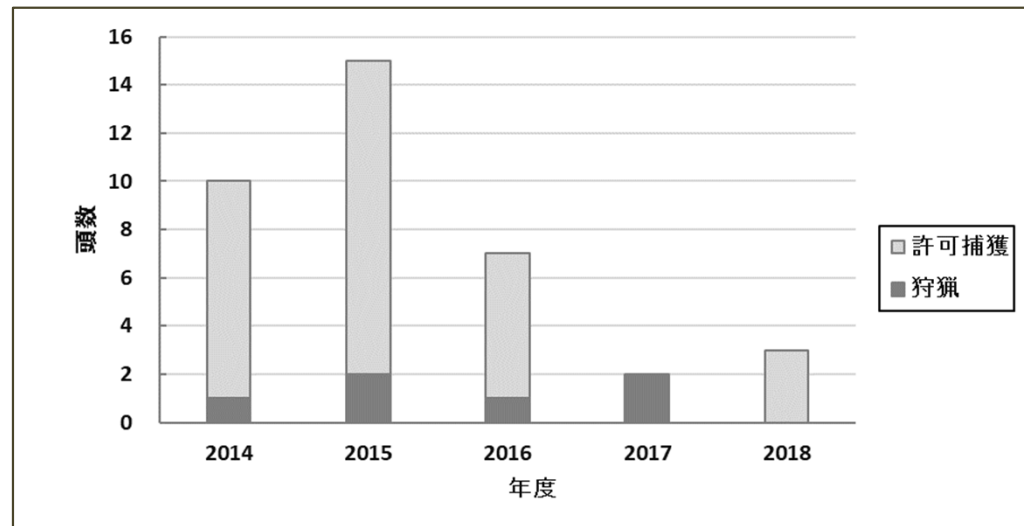
【レッドデータブック】環境省：DD（亜種エゾシマリス）

【生息状況等】生息状況に関する情報は不足しているが、亜種チョウセンシマリスが新潟，山梨，岐阜などで野生化。

【捕獲状況】近年の捕獲数は減少傾向



シマリスの分布図（第6回基礎調査）



シマリスの捕獲数の推移